



*** すてきな宜野湾中、愛される宜野湾中、誇れる宜野湾中 ***

～ 宜野湾中学校で、社会人になった時に必要な「生きる力」を身に付けよう! ～

ねんじゅうむきゅう

年中夢求

学校だより
令和4年度 3月号

令和5年4月3日(月)

宜野湾市立宜野湾中学校長 由 博文

スポーツ講演会



デモンストレーションで、講師の衛藤 昂さんが185cmのバーをクリア



3月6日(月)の3、4校時に元オリンピック選手の2021年の東京五輪に走高跳日本代表として出場した衛藤 昂(えとう たかし)さん、走り幅跳び日本高校記録保持者の中野 瞳(なかの ひとみ)さんのお二人をお招きしてプロスポーツ選手から学ぶ「スポーツ講演会」を実施しました。デモンストレーションとして身長183cmの衛藤さんが、体育館で185cmのバーを軽々とクリアすると生徒達からは、歓声と拍手が沸き起こりました。また、オリンピック代表時のユニフォームも持参していただき、生徒一人一人に素材感等も確認してもらうなどのご配慮もありました。講演会では、衛藤さんからは、近代五輪の創設者クーベルタンの思想を紹介しながら「**自信を積み重ねた先に五輪があった。ライバルの存在もそうだが、大人になると経験できないことも多いので、今の環境を大切にしながら勉強や部活動を頑張っている**」とお話がありました。また、中野さんからは、日本高校記録を出した後にプレッシャーで悩んだことや難病の潰瘍性大腸炎などと闘った経験を紹介し、「**周囲の支えに感謝しながら行動していけばチャンスは巡ってくる**」とお話がありました。お礼のあいさつでは、生徒を代表して陸上部の仲得 夏奈さんからは、「全然違う世界の話に驚いた。宜野湾中学校の陸上部も良い成績が残せるように頑張っていきたい」とお礼を述べました。

※ 宜野湾中学校ホームページでもご覧いただけます!!

裏面につづく⇨

第37回卒業式



3月11日(土)第37回宜野湾市立宜野湾中学校の卒業式は、宜野湾市長 松川 正則様をはじめ、多くの御来賓の皆様、保護者の皆様に御臨席を賜り、卒業式を挙行することができました。卒業生の皆さんにとって中学校3年間は、新型コロナウイルスとの向き合い続けた日々でしたが、苦境の中でも可能な限り教育活動を遂行してくれた228名の卒業生の皆さんが宜野湾中学校を旅立っていきました。今後の活躍を期待しています。

令和4年度離任式



3月24日(金)11時から令和4年度の離任式を行いました。今年度は、教職員18名の先生方が離任、退職されました。長い先生で6年間、短い先生で5カ月間の先生もいましたが、各先生方には宜野湾中学校のために一生懸命ご尽力いただきました。1、2年生の皆さんや卒業生の皆さんは、先生方の一人一人のこれまでの熱い思いを静かに聞いていて、中には、別れを惜しんで涙を流している生徒もいました。私は、令和4年度から校長として赴任しましたが、今年度は、コロナ禍でも出来ることを生徒と職員が一体となって学校教育活動に一生懸命取り組んでいたんだと改めて感じる事が出来ました。離任される18名の先生方、新天地での益々のご活躍を祈念しています。本当にありがとうございました。

※ 宜野湾中学校ホームページ、スクリーンではカラーでご覧いただけます!!

[ホームページとスクリーンに掲載しますので、スクリーンの登録をお願いいたします。](#)